

名古屋市立大学の「今」を伝える広報誌



開学75周年記念式典での理事長式辞の様子(→P1)

### 特集

特集① <開学75周年記念事業>

令和7年度 交流会総会・講演会、  
開学75周年記念式典を開催

特集② キャンパス再編整備プロジェクトが進行中です

特集③ 「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に  
本学から17名の研究者がランクイン

01 特集

03 NCU TRY!!

04 研究室訪問／研究成果PICK UP

05 TOPICS

07 学生の活躍

09 国際交流

10 受賞関連

11 イベントカレンダー／  
教員著書・発行物紹介／  
交流会だより／寄附顕彰

### DONATION

あなたの力が支えます

### ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：総務部 総務課

tel.052-853-8005

<開学75周年記念事業>

令和7年度 交流会総会・講演会、開学75周年記念式典を開催

2026年2月15日(日)、名古屋マリオットアソシアホテルにて令和7年度交流会総会・講演会、続いて開学75周年記念式典を開催しました。

交流会総会・講演会

総会では、事業・会計報告等の議題の他、本学または社会に貢献した教員・職員、同窓会員等を称える表彰を行いました。その後の講演会では本学経済学部の卒業生で俳優の大和田獏氏を招き、「75歳の過去と未来!」と題したご自身の経験を振り返る講演をいただきました。



講演会の様子

開学75周年記念式典



記念式典の様子

開学75周年記念式典には、大学の関係者はもちろん、名古屋市をはじめ、国や県、協定を結んでいる自治体や大学からも多くの方にご出席をいただき、日頃より本学を支えていただいている皆さまとともに盛大な式典を執り行うことができました。名市大未来フォーラムと題したプログラムでは、本学が現在、未来に向けて取り組んでいる事業の紹介や本学のめざす未来像「わたしたちの未来2050(下記参照)」を発表しました。続いて、文部科学省の合田哲雄高等教育局長より「2040年の社会・地域・デモクラシーと高等教育」をテーマにご講演をいただき、本学が教育機関として果たしていくべき役割について考える機会となりました。

この日は、本学に関わる多くの方が一堂に会し、75年を振り返るとともに100周年に向けた未来を共有する素敵な1日となりました。当日ご出席いただいた皆さまを始め、日頃より本学をご支援いただいている方々に心よりお礼申し上げます。今後も引き続き、開学75周年を記念した事業を開催する予定です。詳細は、本学ウェブサイトをご参照ください。



本学ウェブサイト→

わたしたちの未来2050の発表

— わたしたちの未来2050 —

ずっとイチバン名市大

変革に挑み続ける“イチバン”の勇気

世界を驚かす“イチバン”の研究

人生に寄り添う“イチバン”の学び

どんなときも“イチバン”の医療・福祉

名古屋を“イチバン”の世界都市に

開学100周年を迎える2050年を見据え、本学のめざす未来像として「わたしたちの未来2050」の検討を進めてきました。開学75周年記念事業の一環として実施したアイデア募集やワークショップを通じて教職員、学生、ステークホルダーの皆さまからいただいた思いをもとにまとめ、本式典で発表しました。詳細は、本学ウェブサイトをご参照ください。

現在、具体的な取り組みとして「名市大未来プラン2026」の策定を進めております。引き続き本誌にて経過をご報告させていただきます。



↑本学ウェブサイト

特集  
2

## キャンパス再編整備プロジェクトが進行中です



滝子キャンパスと田辺通キャンパスにて工事を行っています。本学の施設は、学生・教職員の教育研究活動の場であるとともに、多様な利用者が活動・交流する、地域に開かれた公共の場や災害時における防災拠点としての機能も期待されています。

今回は、キャンパス再編の進捗状況とトイレの改修工事についてご紹介します。

### キャンパス再編整備プロジェクト

滝子キャンパスは2027年9月下旬から、田辺通キャンパスは2027年4月からの使用開始に向けて、工事を進めています。



滝子キャンパス 工事の様子



田辺通キャンパス 工事の様子



田辺通キャンパス 馬場厩舎

#### <滝子キャンパス>

新3号館、共同棟ともに杭工事が完了し、基礎工事が順調に進んでいます。

#### <田辺通キャンパス>

新棟では杭工事が完了し、鉄骨工事が順調に進んでいます。増築棟となる食堂棟、事務棟の工事も順調に進んでいます。また、馬場厩舎工事については2025年10月末に竣工し、馬術部が活動しています。



↑ 詳細・最新情報は  
こちら



↑ 特設ページは  
こちら

### トイレ改修工事

滝子キャンパス1号館の1、3～7階及び桜山キャンパス本部棟の2、3階のトイレを改修しました。誰もが使いやすい施設となるよう、引き続き再編整備を進めています。



滝子キャンパス1号館トイレ



桜山キャンパス本部棟トイレ

#### <滝子キャンパス1号館>

車椅子利用だけではなく、乳児用の椅子やオストメイトを設置したみんなのトイレや男女兼用で着替えなども出来る広めのトイレを設置し、多様なニーズに対応できるようになりました。

#### <桜山キャンパス本部棟>

プランや仕様(色決め)、工事期間は本部棟の職員にアンケートを取って決定しました。1、4階のトイレは来年度に工事を開始し、夏ごろ改修完成予定です。

特集  
3

## 「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に 本学から17名の研究者がランクイン

スタンフォード大学とエルゼビア社による「標準化された引用指標に基づく科学者データベース (Science-wide author databases of standardized citation indicators)」が2025年9月19日(金)に発表され、科学分野で影響度の高い科学者として、本学からは「生涯」(career-long)区分で13名、「単年」(single recent year)区分で11名が選出されました。そのうち、生涯・単年度ともに選出された研究者は7名です。

このランキングは抄録・引用文献データベースScopusに収録された情報に基づき、22の研究分野・174のサブ分野で少なくとも5編以上の論文を発表している研究者を対象に、数種類の被引用指標を組み合わせた指標により評価して作成されたもので、「サブ分野での上位2%を示す」などの条件に該当する研究者がリストアップされました。

※下記の選出者リスト(指標のランク順)は、2025年4月1日時点で本学に在籍している教員を対象としています。



詳細はこちら→

### 「生涯」(career-long)の区分

富永 真琴(なごや先端研究開発センター 特任教授)  
森田 明理(医学研究科 教授)  
岩田 広治(医学研究科 特任教授)  
鈴木 善幸(理学研究科 教授)  
明智 龍男(医学研究科 教授)

山川 和弘(医学研究科 教授)  
杉浦 真弓(医学研究科 教授)  
郡 健二郎(理事長)  
今泉 祐治(理事・副学長)  
中川 秀彦(薬学研究科 教授)

牧野 利明(薬学研究科 教授)  
岩崎 真一(医学研究科 教授)  
上出 哲広(データサイエンス研究科 教授)

### 「単年」(single recent year)の区分

岩田 広治(医学研究科 特任教授)  
森田 明理(医学研究科 教授)  
富永 真琴(なごや先端研究開発センター 特任教授)  
齊藤 貴志(医学研究科 教授)

杉浦 真弓(医学研究科 教授)  
明智 龍男(医学研究科 教授)  
濱野 高行(医学研究科 教授)  
安井 孝周(医学研究科 教授)

岩崎 真一(医学研究科 教授)  
牧野 利明(薬学研究科 教授)  
柳田 正光(医学研究科 教授)



経済学研究科



新研究科長 河合 篤男

2026年4月より経済学研究科長・経済学部長を拝命します。

名市大に着任してから30年の歳月が流れました。その間、社会は大きく変化してきましたが、いつの時代も本学の経済学部ならびに経済学研究科は、ユニークで元気、かつ優秀な学生であふれています。本学の卒業生は多様な分野で活躍されており、そうした存在は大学にとって重要な財産です。たとえば、学生が大学生活を送る上でも、キャリアを考える上でも、身近でリアリティを伴った存在として刺激を与えてくれます。また時には、学生のフィールドリサーチへの協力で、研究にとっても有益な示唆を与えてくれたりすることもあります。われわれが生きる現代は、大学の立ち位置も含め、社会がさらに大きく変貌していくことが予測され、不確実性が増しているといえます。こんな時だからこそ、

ますます大学と社会の連携が大切になってきます。こうした連携を促進するために、卒業生の活躍ぶりを把握して広く社会に発信することで、卒業生の皆さんと学生との接点がこれまで以上に強固になり、そこに関わる人々の知の交流とエネルギーが創出されていくと考えています。

また、こうした試みに加え、これまで経済学研究科・経済学部で取り組んできた多元的な専門領域の教育を基盤としつつ、地域や社会の「問題解決」と向き合う時に必要な、思考の枠組みと判断基準を持った人材育成に取り組んでいきます。



卒業生を交えた滋賀大学との対抗討論会



芸術工学研究科



新研究科長 太幡 英亮

2026年4月より、芸術工学研究科長・芸術工学部長を拝命します。芸術工学部は「デザイン・芸術の感性と工学の理論を身につけ、人間中心の考え方ができる総合デザイナーの育成」を理念として1996年4月に設置され、今年で30周年を迎えます。この節目の年に、情報環境デザイン、産業イノベーションデザイン、建築都市デザインの3学科を融合して1学科に再編し、再発進しました。

この変革は、急激に変化する地球環境と社会、AIに代表される急速に進化する科学技術、それらに応じた人文・社会科学、自然・応用科学、芸術学などの諸分野の変化、それによる人間や自然理解の深化が促進していることを背景にしています。従来の人間中心の総合デザイナーから、自己と他者、人間と自然、さらには人間と技術の境界を越境する総合デザイナーへとバージョンアップが求められる時代になったと言えるでしょう。

そこで、今世紀に社会・産業イノベーションに不可欠な能力として理解されるようになった「デザイン」の世界的動向を踏まえ、国内の他の芸術工学部とも連携しての理念の更新を行い、社会と大学に改めて「芸工」を位置付けたいと考えています。そのためまずは「30周年記念イベント」等の企画を進めます。また、附属病院等をフィールドとした「領域横断型デザイン・研究プロジェクト」の推進や、教職員・学生・卒業生が相互に理解し合いパフォーマンスを最大化するための情報交換の機会として「芸工会議」の開催、より学生に使われる図書館を目指した「ライブラリートーク」の開催などのアクションプランを考えています。

そこで、今世紀に社会・産業イノベーションに不可欠な能力として理解されるようになった「デザイン」の世界的動向を踏まえ、国内の他の芸術工学部とも連携しての理念の更新を行い、社会と大学に改めて「芸工」を位置付けたいと考えています。そのためまずは「30周年記念イベント」等の企画を進めます。また、附属病院等をフィールドとした「領域横断型デザイン・研究プロジェクト」の推進や、教職員・学生・卒業生が相互に理解し合いパフォーマンスを最大化するための情報交換の機会として「芸工会議」の開催、より学生に使われる図書館を目指した「ライブラリートーク」の開催などのアクションプランを考えています。



実習講評会での学生間での相互評価の風景

# 研究室訪問



本学が有する8研究科から様々な分野の研究を紹介していきます！



本学ウェブサイト研究ページはこちら↑



経済学研究科 山本陽子 教授 ゼミ

## どんな研究？

仕事と家庭の両立を支える制度が、女性の働き方や少子化、世帯の所得格差にどのような影響を与えるのかを、データを用いて実証的に分析をしています。現在は、「妻は夫より稼ぐべきではない」という社会規範が、既婚女性の労働供給や稼得所得、家事分担に影響しているのかを少子化が深刻な東アジアを対象に研究しています。さらに、こうした考え方が歴史的にどのように形成され、女性の労働に影響してきたのかを、19世紀のイギリスを対象に明らかにしています。

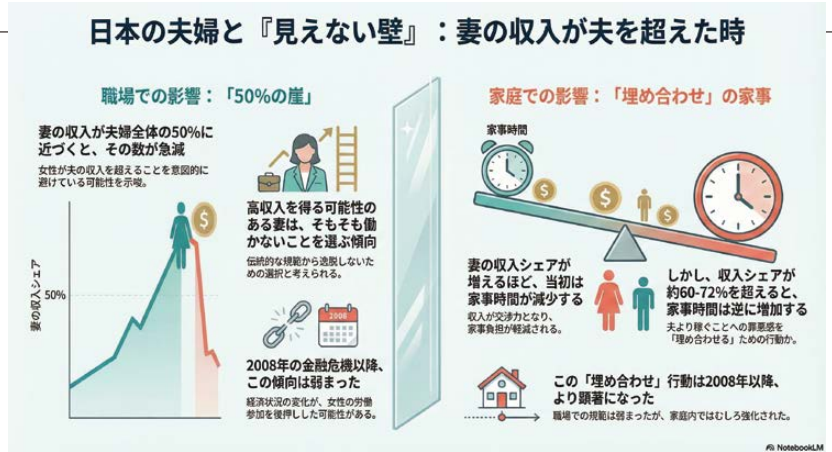
この研究分野は、**雇用政策や子育て支援、社会保障制度の設計と密接に関わっています**。女性が働き続けやすい環境を整えることは、少子化の進行抑制や所得格差の縮小、持続可能な社会の実現につながります。また、**社会に根付いた価値観や慣習が政策の効果を左右する点に注目し、実証的な分析を通じて、より効果的で現実に即した政策立案に貢献することを目指しています**。

## ゼミの魅力は？

私は、社会の仕組みや構造に起因する社会問題に関心があり、社会保障や労働市場を扱う山本陽子ゼミを選びました。ゼミでは、これらの分野に関する文献を輪読しながら、自身の問題意識を卒業論文へと発展させていきます。私は、女性のキャリアをテーマに研究しており、身近な社会問題を学問として捉え直す面白さを感じています。自分で問いを立て、試行錯誤しながら研究を深められる点が、このゼミの魅力です。(3年生 楓智衣さん)



ゼミの様子



研究内容イメージ

# 研究成果 PICK UP!

本学より発信した研究成果のプレスリリースを抜粋して紹介します。

## 科学的アプローチで“匠の技”を魅せる・学ぶ

- 産学連携の成果として建設技能を未来につなぐWebサイト公開 -

2025年12月3日にWebサイト公開

### POINT 01

建設分野の熟練技能伝承と若年層の業界への関心を高めることを目的としたWebサイトを制作しました。

### POINT 02

人間工学実験に基づく学術知見に裏打ちされた熟練技能の見える化、漫画を読む感覚で学べる技の極意を伝えるブログ記事などから構成し、若手技能工が自身の職に誇りを持ち熟練工を目指す、そしてこれまで業界に関心の無かった若年層が業界への就職を目指す一助になることが期待されます。

<p>Article 4</p>  <p>動作分析で学ぶ左官の極意①：「もっと身体全体を使って」と言われまして</p> <p>詳しくみる</p>	<p>Article 5</p>  <p>動作分析で学ぶ左官の極意②：平らな表面を作るには？</p> <p>詳しくみる</p>	<p>Article 6</p>  <p>熟練重機オペレーター 見て学べ！ 若手重機オペレーター これ初めてらしい！</p> <p>ARを使った技能学習って効果ある？</p> <p>詳しくみる</p>
---	---	---

熟練技の特徴をイラストと平易な言葉で説明します

▶ 関係する主な本学教員 データサイエンス研究科 横山清子教授

DATE 2026.1.22

## SDGsセンターシンポジウムを開催しました

2026年1月22日(木)、SDGsセンターシンポジウム「地球規模の課題にどう向き合うか SDGsとプラネタリーヘルス」名市大の研究から見える視点を開催しました。

今年のシンポジウムでは「プラネタリーヘルス」をテーマに、長崎大学の渡辺知保教授よりプラネタリーヘルスの概念や重要性などについて講演いただきました。パネルディスカッションでは、医学研究科 伊東直哉教授・上島通浩教授、データサイエンス研究科 辰己賢一教授を交え、SDGsセンター副センター長 高桑修教授の進行のもと、分野の垣根を越えた意見交換が行われました。基調講演やパネルディスカッションを通じて、直面する地球規模の課題へどう向き合うかを考える機会となりました。



基調講演の様子

DATE 2026.2.17-23

## 芸術工学部 大学院 芸術工学研究科 卒展2026を開催しました



北千種キャンパスの展示



市民ギャラリー矢田の展示

2026年2月17日(火)～2月23日(月・祝)の期間、北千種キャンパスと市民ギャラリー矢田において、芸術工学部4年生と大学院生による卒業修了制作展を開催しました。映像、メディアアート、サウンド、UI/UX、プロダクト、グラフィック、3DCG、建築、都市計画、ランドスケープなどの様々なテーマを通じて、現代社会と都市環境へのデザイン提案を目指した作品を展示しました。多くの来場者から好評をいただき、学生生活における集大成となる作品展となりました。

DATE 2025.12.1

## 高等教育院 第19回 教育改革フォーラムを開催しました

2025年12月1日(月)、滝子キャンパス教室およびオンラインにて、「キャリア教育」をテーマとした教育改革フォーラムを実施しました。

高等教育院 川合一郎講師からは本学におけるキャリア教育の歩みと今後の展望について講演があり、若者研究の第一人者である芝浦工業大学 原田曜平教授には現代の若者の仕事観などを踏まえた講演をいただきました。続くQAセッションでは、「Z世代の特徴を踏まえ、教育現場ではどう関わるべきか」など、参加者から多様な視点での質問が寄せられ、高等教育院 松尾美香准教授がファシリテーターを務める中、活発な意見交換が行われました。

当日は、対面・オンライン合わせて111名の方にご参加いただき、アンケートでは9割以上がフォーラムについて「満足した」と回答するなど、参加者の学びが深まる有意義な時間となりました。



QAセッションの様子

DATE 2026.2.6

## 第3回 小児AYA Cancer Symposiumを開催しました

2026年2月6日(金)、希少疾患である小児AYAがんの多施設参加型研修会としてシンポジウムを開催しました。本年度は「薬剤師と支える小児AYAがん診療の未来」をテーマに、会場とwebで合わせて64名に参加いただきました。学内の薬剤部、病棟からの演題に加え、市大病院と「薬薬連携」を担っている地域の調剤薬局からも報告がありました。特別講演では、JCCG(日本小児がん研究グループ) 薬剤委員長 の国立成育医療研究センター薬剤部 歌野智之先生にご講演いただきました。小児AYA世代の治療経験やそこからみえてくる課題、国内外の取り組み、未来に向けての研究など幅広く情報共有ができ、有意義な会となりました。今後も小児AYAがんの患者さまに、より良い医療の提供ができるよう皆さまと協力しながら推進して参ります。



講演の様子

## 西部医療センター

## 名古屋市立大学が歩道橋ネーミングライツ パートナー契約を締結しました

西部医療センター未来プラン2021に基づく広報活動の一環で、名古屋市歩道橋ネーミングライツパートナー契約を締結しました。2025年12月1日(月)に施工が完了し、西部医療センターに通じる幹線道路上の若園歩道橋(北区金城二丁目)に名古屋陽子線治療センターの名称が標示されています。

名古屋陽子線治療センターは名古屋の中心部に近く、通院治療がしやすい「都市型施設」です。また、西部医療センターの一部門であり、抗がん剤や手術など様々な治療法を組み合わせた陽子線治療が可能で、生活の質を維持しながら行えるがん治療を提供しています。こうした特長を有する本センターの認知度向上をはかることで、今後も地域医療の発展に貢献してまいります。



DATE 2026.1.27

## ダイバーシティ推進奨励賞表彰式を行いました

本学ではダイバーシティ推進宣言を行っており、多様性を尊重し様々な人材が活躍できる社会の実現を目指しています。  
 その中で、ダイバーシティ推進に関連する優れた研究・活動等を行っている本学の教職員及び学生等に対して、2026年1月27日(火)に学長から表彰を行いました。



<受賞者> (敬称略)  
**■活動/学生部門**  
 名市大学学習支援サークル「つばめ」  
**■活動/教職員部門**  
 薬学研究科  
 高岸 麻紀

DATE 2025.10.11-13

## 大学院 芸術工学研究科 大学院 看護学研究科 ワールドフェスティバル in 愛知に参加しました



留学生、学部生、名古屋市役所、近隣医療機関のボランティアのみなさん

2025年10月11日(土)～13日(月・祝)に、グローバル人材交流、世界観光の促進、国際的な文化・経済交流を目的として久屋大通公園エンゼル広場で開催された「ワールドフェスティバル in 愛知」に参加しました。看護学研究科の秋山直美准教授と芸術工学研究科の桐山岳寛准教授が協働して、防災・減災に関するワードレスダイアグラム(※)教材の評価を目的としたアンケート調査を実施しました。本取組は、ワールドフェスティバル実行委員会ならびに名古屋市観光文化交流局 観光交流部 国際交流課のご協力のもと実施したものです。当日は雨交じりの天候でしたが、多くの来場者にご協力いただき、伊勢湾台風や東日本大震災の被災経験を有する市民の方々からも貴重なご意見を伺うことができました。外国人を含む多様な市民の方々との対話を重ねながら進めるアンケート調査という形式は、研究者・学生双方にとって大きな学びの機会となりました。

※ワードレスダイアグラム:文字に依存しない視覚的図解による表現方法

○この調査は、名古屋国立大学共創まちづくり研究推進費2409638の助成を受けて実施しました。

DATE 2025.11.14

## 令和7年度 知的財産表彰 (知財萌芽賞、知財貢献賞、産学連携賞)を行いました

2025年11月14日(金)、令和7年度知的財産表彰を行いました。本学における知的財産創出を奨励し、教職員のモチベーション向上につながることを期待し、前年度の知的財産創出活動等において貢献のあった教職員を表彰するものです。今年度より創設されました。



表彰式後の記念撮影

- 知財萌芽賞**  
 医学研究科 助教 永井 隆  
 医学研究科 教授 植木 美乃  
 医学研究科 助教 木曾原 昌也  
 医学研究科 助教 柳瀬 貴弘  
 医学研究科 教授 田口 歩
- 知財貢献賞**  
 医学研究科 学内講師 金澤 智
- 産学連携賞(理事長表彰にて表彰)**  
 医学研究科 教授 森田 明理

## 大学ウェブサイト「在学生の声」を更新しました

大学紹介サイト「見る・聞く・知る名市大」に、2025年度在学生のインタビュー記事「在学生の声」を追加しました。各学部の在学生にインタビューを行い、本学への志望理由や現在学んでいる内容、将来的な目標などについて深掘りしてお聞きしました。それぞれの目標に向かって、本学で



インタビューの様子(医学部の学生)

日々努力を重ねる在学生の皆さん。その強い気持ちがあふれるインタビュー記事をぜひご覧ください。

インタビュー記事はこちらから→



## 腫瘍学の国際学会のアクティビティで本学及び教員がランクインしました

近年、X(旧Twitter)は、最新情報の収集に欠かせないツールの一つになりました。LARVOLという世界中の腫瘍学に関するX上の投稿記事のデータをAIにて集計し、ランキング形式で公表するサービスがあります。ESMO(欧州臨床腫瘍学会)2025の開催期間中、本学がアクティビティの高い施設として世界8位にランクインしました。乳腺腫瘍領域では、本学乳腺外科の寺田満雄医師および医学研究科臨床研究戦略部 能澤一樹特任講師が個人部門で3位、4位になり注目を集めました。さらにSABCS (San Antonio Breast Cancer Symposium) 2025の開催期間中では、本学が2位にランクインしています。今後も幅広い媒体での情報発信に取り組んでいきます。



寺田医師



能澤特任講師



2026年1月9日の認知症カフェ

## 名市大認知症カフェを行っています

本学の看護地域連携センターでは毎月1回、名市大鳴子CHCセンターにて認知症カフェを行っています。認知症カフェは、高齢者の方が住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、本人同士の仲間作りや生きがい支援、家族の介護負担軽減、認知症症状の悪化予防、地域住民への啓発等を目的としています。本学の認知症の研究者や学生が参加して、地域住民との交流や健康に関する啓発活動を行うことで、地域と大学との信頼関係を構築しています。毎回約15名が参加しており、仲間作りの場にもなっています。



# 学生の活躍



授賞式の様子 池田さん



授賞式の様子 映像によるまちづくり

## 令和7年度「瑞躍賞」受賞者が決まりました

課外活動や社会貢献活動の分野において、顕著な功績のあった学生や団体を大学が表彰する「瑞躍賞」に、令和7年度は自薦・他薦合わせて13組の推薦がありました。この中から選ばれた3組(個人2・団体1)の受賞者に、2026年2月15日(日)開催の名古屋市立大学交流会において行われた表彰式で副賞が授与されました。これからも皆様のご活躍を期待しています。

### <課外活動部門>

- 佐々木葵さん(人文社会学部4年)  
FULLCONTACT KARATE EXPO 2025  
(第2回国際フルコンタクト空手道選手権大会)  
女子軽中量級 第3位
- 池田裕貴さん(経済学部2年)  
DREAM JAPAN PROJECT 2025  
(全国規模のビジネスコンテスト)  
イシケン賞1位、井上窯賞3位

### <社会貢献活動部門>

- 映像によるまちづくり(名古屋市大認サークル)  
名古屋市との協働で児童虐待防止推進のための啓発動画を2本制作し、名古屋市公式ウェブサイトやYouTube等により広く配信・上映。  
・児童虐待防止啓発動画「学校へのおこがれ編」  
・児童虐待暴威啓発動画「保健室編」

## 経済学部 Student Innovation College2025

### 経済学部生が受賞し、商品化権利を獲得しました

2025年12月6日(土) Student Innovation College(通称Sカレ)2025にて経済学部3年のチーム「NiCiU」(小野田愛叶さん、加藤豊乃香さん、高知杏さん、椿井優心さん)の提案企画が、大阪書籍印刷株式会社のテーマ「誰かがしあわせになる紙文具」にて1位を獲得し、商品化権利を獲得しました。また「Good3」(熊崎水蘭さん、山田春佳さん、吉田朱里さん)の提案企画がスマイルキッズ株式会社のテーマ「暮らしに役立つ便利商品」で3位となりました。



プレゼンの様子  
左から小野田愛叶さん、加藤豊乃香さん、  
椿井優心さん、高知杏さん



中学生からの質問に答えるゼミ学生

## 人文社会学部 人文社会学部の学生が市内の中学校で キャリア教育プログラムを支援しました

名古屋市では現在、各中学校において、中学生向けのキャリア教育の充実につとめています。今回、人文社会学部現代社会学科4年三浦哲司ゼミの学生11名が、2026年1月29日(木)に、名古屋市中区の前津中学校にてキャリア教育プログラムを支援しました。

当日は、ゼミの指導教員から大学全般の説明の後、ゼミ学生2名と中学3年生2~3名とでグループに分かれ、大学進学や大学生活について、情報提供や質疑応答・意見交換を行いました。参加した中学生からは「いつから大学受験の勉強を始めたか」「志望先はどのように決めましたか」など数多くの質問が投げかけられました。

## 経済学部 名古屋市交通局「市バスでPetit旅マップコンテスト」で最優秀賞を受賞 「市バスごろく」が商品化されました

「市バスでPetit旅」は名古屋市交通局が実施する若年層をターゲットにした市バス利用促進策です。2025年12月13日(土)名古屋市交通局「市バスでPetit旅マップコンテスト」が滝子キャンパスで開かれ、経済学部4年の伊藤優佑さん、高月海朋さん、早川夏光さん、若原かえでさんのチームが全6チーム中最優秀賞を受賞しました。また受賞企画「市バスごろく」は、2025年度「市バスでPetit旅」第3弾の1つとして2026年2月20日(金)~3月16日(月)まで実施され、チームは市長定例会見への参加やSNSでの広報に協力しました。



授賞式の様子  
左から伊藤優佑さん、高月海朋さん、  
早川夏光さん、若原かえでさん



eスポーツ大会の様子

## 人文社会学部 御劔学区子ども会のクリスマスイベント開催を支援しました

人文社会学部現代社会学科3年三浦哲司ゼミでは毎年、地域連携の一環として、瑞穂区の御劔学区子ども会の活動を支援しています。今回は2025年12月21日(日)午後のクリスマスイベントの開催をめざし、10月末から5回にわたり、ゼミ学生が運営スタッフの子どもたちをサポートするかたちで、準備を重ねてきました。

その甲斐あって、12月のクリスマスイベント本番では、保護者も含めて150名ほどの参加がありました。子どもたちとゼミの学生とで時間をかけて準備したeスポーツ大会、運試しトランプ、ペットボトルボウリング、紙飛行機飛ばし、ビンゴ大会などの企画は、いずれも大盛況でした。



経済学部 株式会社ヴィ・ド・フランスとの産学連携プロジェクト

学生考案のパンが販売されました

経済学部では株式会社ヴィ・ド・フランスと産学連携事業に取り組んでいます。今年度も経済学部生から数多くの提案が出されました。試作品提案会ならびに企業内での検討の結果、第一弾として「ちくわぱん」(2年生河嶋心奈さん提案)、「和風明太フランスパン」(2年生高野倅花さん、田中莉子さん、中根浩詠さん、吉川真央さん提案)が2026年1月13日(火)に、第二弾「パニーニ(プルコギ)」(1年生田原涼花さん、山口隼翔さん、山本裕之さん提案)は2月16日(月)に上前津店限定で発売されました。(全て期間限定での発売です)

なお、「ちくわぱん」は好評につき他の一部店舗での展開もされました。



心を考案した学生の皆さん

学生の受賞

※学年は受賞時

医学部 大学院 医学研究科

一般社団法人 日本神経化学会 第68回 日本神経化学会大会 優秀発表賞

<受賞者>  
医学研究科 神経発達・再生医学分野 大学院博士課程4年  
豊田 貴一 さん  
<題目>  
成体嗅球のニューロン新生におけるミクログリアによる死細胞貪食の役割



第9回 黒潮カンファレンス Rookiesセッション 優秀賞

<受賞者>  
医学研究科臨床薬剤学 博士課程1年 萩田 圭紀 さん  
<題目>  
ラットを用いた膀胱機能におけるアンブレラ細胞の役割の検討



日本化学療法学会 西日本支部活性化委員会 支部奨励賞<臨床部門>

<受賞者>  
医学研究科臨床薬剤学5年 (薬学部5年) 宮本 武門 さん  
<題目>  
母集団薬物動態モデルと機械学習を組み合わせたパンコマイシン投与早期のAUC予測精度の検証



第9回 黒潮カンファレンス Rookiesセッション 優秀賞

<受賞者>  
医学研究科臨床薬剤学 博士課程2年 野田 みすず さん  
<題目>  
ラット骨盤内accessory nerveが担う膀胱の収縮制御機能に関する研究



日本性機能学会 第35回 学術総会・第35回 日本性機能学会中部総会 優秀賞

<受賞者>  
医学研究科臨床薬剤学修士課程2年 小林 ティモシイ哲郎 さん  
<題目>  
sGC活性化剤を利用したラット勃起反応の持続性に関する検討



日本薬学会 第145年会 学生優秀発表賞(ポスター)

<受賞者>  
医学研究科臨床薬剤学4年 (薬学部4年) 青山 聖 さん  
<題目>  
DVOによる医療費削減効果と無菌性について~抗がん剤自動調製ロボットを用いた検討



芸術工学部 大学院 芸術工学研究科

日本造園学会中部支部大会 最優秀学生発表賞

<受賞者>  
芸術工学部 建築都市デザイン学科4年  
細江 真生 さん



建築・まちづくり学生活動コンペ2025 入賞

<受賞者>  
芸術工学研究科 建築都市デザイン領域 修士課程1年生  
加藤 丈太郎 さん、足立 香帆 さん、小田 健心 さん、松沼 花奈 さん、吉川 瑞乃 さん  
芸術工学部 建築都市デザイン学科 4年  
浅井 大成 さん  
<題目>  
長島町通社会実験プロジェクト



景観開花。2025 優秀賞

<受賞者>  
芸術工学部 建築都市デザイン学科3年  
河田 夏奈 さん、小野 優人 さん、田村 恭子 さん、芳形 芽依 さん、吉川 愛子 さん  
<題目>  
灯る堤-ハレへと転換する防潮堤-



大学院 理学研究科

The 16th International Symposium on Organic Reactions (ISOR-16) Chemistry Letters Young Researcher Award (ポスター賞)

<受賞者>  
理学研究科 博士後期課程2年 今井 友也 さん  
<題目>  
Redox Properties of Methoxylated Cyclic [3]Spirobifluorenylenes



第48回 日本分子生物学会年会 MBSJ Poster Award 2025 (ポスター賞)

<受賞者>  
理学研究科 博士後期課程1年 家田 花歩 さん  
<題目>  
発生速度を制御する遺伝子の同定に向けて



Tongaliアイデアピッチコンテスト2025 受賞者

Tongali賞3位・東海東京証券賞

<受賞者>  
医学部4年 本田 泰良 さん  
<題目>  
一瞬にして自分の考えを伝えられるツール



OKB賞・なごのキャンパス賞

<受賞者>  
経済学部1年 傍嶋 隆太郎 さん  
<題目>  
スマホひとつで大規模ライブを制御。青春の熱量を光で表現



名古屋市信用保証協会賞

<受賞者>  
経済学部1年 白川 純 さん  
<題目>  
相手への想いを伝統工芸品を通して形にするギフトサービス



# 国際交流

INTERNATIONAL ↔ EXCHANGE

## 成都中医薬大学代表団が本学を訪問されました

2025年11月14日(金)に成都中医薬大学前副学長の彭成教授ほか5名からなる代表団が本学を訪問し、薬学部同士の学部間交流協定締結式を催し、先方の章津銘薬学部長と本学の服部光治薬学研究科長との間で協定書へのサインの交換を行いました。代表団は市立大学病院漢方医学センターでの外来や薬剤部を見学したほか、彭成教授の講演会を開催しました。成都中医薬大学は1956年に設立、中華人民共和国で最初に設立された4つの中医薬学院の1つを前身とする名門大学で、中医薬学以外にも中国西南部の少数民族の民間薬研究の中心ともなっています。



服部研究科長と彭成教授

## ベトナムのドンア大学で防災ワークショップを実施しました



防災教育ワークショップに参加した近畿大学・ドンア大学の皆さん

○このワークショップは、名古屋市立大学共創まちづくり研究推進費2409638の助成を受けて実施しました。

2025年11月3日(月・祝)、ベトナム・ダナンのドンア大学において、看護学研究科の秋山直美准教授と、近畿大学生物理工学部の島崎敢准教授、林和典助教らの研究グループが防災教育に関するワークショップを実施しました。日本語を学び、将来的に日本への留学や就業を希望する学生を対象に、地震災害の多い日本においても、来日初日から安全に生活できることを目的として企画したものです。本取組は、まちづくり共創研究の一環として約1年前から準備を進め、2025年4月に締結した大学間交流協定を経て実施しました。

当日は大雨による洪水警報の発令により対面開催を見送り、オンラインによる演習型講義を行いました。学生の防災への関心は高く、意欲的に参加してくれました。今後も、外国人の方々が安心して日本で生活できる社会の実現に向け、防災教育と国際連携を進めていきたいと考えています。

## 鶴舞中央図書館主催絵本の読み聞かせイベントに本学留学生が参加しました

2025年12月13日(土)に鶴舞中央図書館主催、本学国際交流センターの協力により「せかいのこぼれおはなし会」が開催され、本学の留学生3名が参加しました。このイベントは2014年から毎年開催されており、留学生がそれぞれの母語等で絵本の読み聞かせをするというもので、本年は韓国語、英語、ドイツ語で行われました。来場者は4歳前後のお子さんやその保護者ら合わせて約45名でした。絵本の朗読以外にも、スライドショーを用いた出身地の紹介や、各言語で動物の鳴き声を紹介するお楽しみの時間が設けられ、子どもから大人まで楽しみながら交流を深めました。



おはなし会の様子



読み聞かせを行った留学生のみなさん

大学院 人間文化研究科

## 人間文化研究科のゼミで「災害安全カード」を作成しました

人間文化研究科椎名渉子准教授のゼミ生9名が、留学生向けの「災害安全カード」を作成しました。本カードは災害時に必要な情報をまとめたもので、やさしい日本語で作成されています。作成にあたっては、ゼミに所属する中国および韓国からの留学生の協力により、災害に関することばを日本語・英語・中国語・韓国語の4か国語で記載しました。日本語に不安がある留学生にとっても、災害時に役立つ内容となっています。災害への備えとして、多くの留学生の皆さんに活用していただきたいです。



災害安全カード

## 留学生たちと瑞穂区民まつりに参加しました

2025年11月29日(土)、インドネシア、韓国、中国、ドイツからの留学生と、国際交流サークルNCU GO!の学生、IPEグループの学生計15名が瑞穂区民まつりに参加しました。「世界の言葉であいさつしよう」というテーマでブースを出展し、来場者の方と一緒に各国のあいさつを練習して発音が難しいところは留学生がサポートするなど、みなさん楽しそうに世界のあいさつを体験していました。来場者からは「昔ドイツ語を少し勉強していたので懐かしかった」「韓国が好きなので韓国語を体験できてよかった」などの感想が寄せられました。当日は430名以上の方にお越しいただき、大盛況のもと終えることができました。留学生は名市大の法被を身にまとい、市民の皆さんとの交流や日本のお祭りの雰囲気を楽しんでいました。



集合写真

PRIZE

受賞

※受賞期間:2025年5月~12月頃 ※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載



医学研究科



第41回 日本TDM学会・  
学術大会優秀演題賞

<受賞者>  
医学研究科 臨床薬理学  
講師 堀田 康弘



一般社団法人 日本神経化学  
第68回 日本神経化学学会大会  
研究奨励賞

<受賞者>  
医学研究科 神経発達・再生医学分野  
特任助教 松本 真実



第14回(2025年度)  
日本性機能学会 白井賞

<受賞者>  
医学研究科 臨床薬理学  
准教授 堀田 祐志



一般社団法人 日本血液学会  
第86回 日本血液学会学術集会  
奨励賞

<受賞者>  
医学研究科 血液・腫瘍内科学分野  
病院助教 中島 貴裕



手術手技研究会  
第79回手術手技研究会  
2025年度ビデオ賞

<受賞者>  
医学研究科 消化器外科学分野  
講師 齊藤 健太



The 18th International Congress on  
Antiphospholipid Antibodies(ICAPA2025)  
Young Investigator's Award

<受賞者> 医学研究科 産科婦人科学  
臨床研究医 足尾 陽



一般社団法人 日本神経化学  
第68回 日本神経化学学会大会  
優秀発表賞

<受賞者>  
医学研究科 神経発達・再生医学分野  
研究員 鈴木 崇宏



2025年度 埼玉大学  
機器・分析技術研究会  
優秀ポスター発表賞

<受賞者>  
医学研究科 共同研究教育センター  
衛生技師 山田 晴代



・第63回 日本癌治療学会学術集会  
Medical Staff Award  
・日本病院薬剤師会東海ブロック・  
日本薬学会東海支部  
合同学術大会2025  
ベストプレゼンテーション賞

<受賞者> 医学研究科 臨床薬理学  
病院助教 三村 佳久

人間文化研究科



国際幼児教育学会  
学会功労賞2025

<受賞者> 人間文化研究科  
教授 上田 敏文

芸術工学研究科



・日本造園学会(100周年記念大会)  
学会賞

・2026年「今年期待の造園人」選出

<受賞者> 芸術工学研究科  
建築都市デザイン領域  
准教授 大野 暁彦

市立大学病院



第8回 フレッシュアップ・カンファランス  
優秀演題発表賞(口頭)

<受賞者> 市大病院薬剤部  
薬剤師 荻田 柁人

東部医療センター



第257回 日本内科学会東海地方会  
優秀演題賞

<受賞者> 東部医療センター 消化器内科  
研修医 近藤 佑星

みどり市民病院



2024年胆道学会 優秀論文賞

<受賞者> みどり市民病院 消化器内科  
助教 佐藤 棕  
(責任著者:東部医療センター 消化器内科  
教授 林 香月)

令和7年度 永年勤続表彰



永く、本学で勤め、支え続けていただいた皆さまへ、心より深く感謝いたします。今後も健康にご留意いただき、ますますのご活躍をお祈りいたします。

30年勤続表彰



近藤 勝弘  
教授(医)  
皆様のお陰で30  
年。感謝申し上げます。



井坂 雅徳  
助教(医)  
ありがとうございます。



河合 篤男  
教授(経)  
名古屋市が面白い  
大学になることを  
願います!



榎本 涼子  
司書  
皆様のご指導、ご  
支援に感謝申し  
上げます。



中尾 敦子  
看護師長  
ご支援くださった  
皆様に心より感  
謝致します。



石川 有里  
看護師  
皆さまとの出逢い、  
ご支援に感謝致  
します。



来海 千恵  
看護師  
ご支援いただいた  
皆様に深く感  
謝致します。



小鹿 真奈美  
助産師  
支えていただいた  
皆様に感謝いた  
します。



吉田 佳代  
看護師  
ご支援いただいた  
皆様に感謝いた  
します。



河合 晴美  
看護師  
共に歩んだ家族  
と仲間へ深く感  
謝いたします。



相坂 麻衣子  
看護師  
支えてくださった  
皆様に感謝いた  
します。



森 清孝  
技師長  
(診療放射線技師)  
皆様のおかげで  
す。深く感謝申し  
上げます。



佐藤 由美子  
副薬剤部長  
皆様の御支援に  
心より感謝申し  
上げます。



鯖江 幸美  
看護師  
支えて下さった  
方々に心から感  
謝致します。



高木 和代  
看護師  
毎日笑顔で元気  
に。これからも頑  
張ります。



木下 英里  
看護師長  
これまでのご縁と  
ご支援に感謝い  
たします。



小室 香  
看護師長  
皆様のご支援の  
おかげと心より感  
謝致します。

20年勤続表彰

遠山 竜也 教授(医)  
安川 力 教授(医)  
奥山 徹 教授(診療担当)(医)  
若林 健二郎 教授(医)  
伊藤 恵介 准教授(医)  
木村 吉秀 准教授(医)

岡 雄一 講師(医)  
牧野 利明 教授(薬)  
星野 真一 教授(薬)  
山村 壽男 教授(薬)  
寺坂 和祥 講師(薬)  
板倉 健 教授(経)

河合 勝彦 教授(経)  
濱口 泰代 准教授(経)  
樫野 香苗 教授(看)  
湯川 泰 教授(理)  
渡邊 裕司 教授(理)  
矢埜 多恵子 係長(管理栄養士)

木村 理恵 薬剤師  
山本 奈央 看護師  
糸魚川 一美 看護師  
柄澤 裕子 看護師  
竹下 聡子 看護師  
山本 陽子 看護師

古田 彩乃 看護師  
岩田 美奈子 看護師  
坂井 智子 看護師  
高須 久仁子 看護師  
藤井 久人 係長(臨床工学技士)  
太田 明恵 看護師

(医):医学研究科 (薬):薬学研究科 (経):経済学研究科 (看):看護学研究科 (理):理学研究科

## イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

開催日	内容	時間・場所・費用など	申込方法
4.10 FRI 5.8 FRI 6.12 FRI	認知症カフェ 講師:看護学研究所 教授 久保田 正和	時間:13:30~15:00 場所:名市大鳴子CHCセンター 費用:無料	詳細は二次元コードからご確認ください 
6.3 WED	看護研究のすすめ 「看護研究基礎セミナー」 テーマ:リサーチエッセションのつくり方 講師:看護学研究所 教授 久保田 正和	時間:10:00~12:00 場所:桜山キャンパス看護学部棟 費用:無料	名古屋市電子申請サービスより4月1日から申し込み開始 詳細は二次元コードよりご確認ください 



### 教員著書・発行物紹介

#### 園内研修から始める「楽しい」と思える園づくり

編著:人間文化研究科 教授 上田 敏文  
出版:2025年10月 ratik



#### 物質科学のためのX線構造解析入門

著者:理学研究科 教授 青柳 忍  
出版:2025年11月 裳華房



### 「名市大ブックス ザ・ベスト」出版!

社会貢献活動の一環として2020年から出版を続けている「名市大ブックス」シリーズ。2026年1月、これまでに出版した1~20巻からテーマごとに項目を選び、「知って得する医学上巻・下巻」の2冊にまとめました。ぜひともご一読いただき、学びを深めてみてください。

名市大ブックスについての詳細はこちら→



### 交流会だより

#### 令和6年度 会計報告及び交流会未来プラン

2026年2月15日(日)に開催された交流会総会にて、令和6年度の会計報告が行われました。令和6年度の収入は25,285千円(前年度繰越金含む)、支出は7,027千円、次年度繰越額は18,259千円でした。

また、総会にて交流会未来プランが承認されました。交流会未来プランは2050年の開学100周年に向け、段階的に交流会の課題を解決し、明るい未来へと飛躍する交流会の未来像を共有するために策定されたものです。

名古屋市立大学交流会HPにて総会の開催報告をしております。



交流会未来プラン



### 寄附顕彰

#### 大学振興基金

##### ■個人

- 10万円以上 木村 憲司 様、森田 明理 様、吉田 和生 様
- 5万円以上 木藤 新一郎 様、窪田 泰江 様、渡邊 章弘 様
- 1万円以上 金山 千恵 様
- 非公表 浅井 清文 様、浅野 実樹 様、伊藤 恭彦 様、今泉 祐治 様、金子 典代 様、久保田 健市 様、郡 健二郎 様、妹尾 恭司 様、瀧下 亜紀子 様、津田 喬子 様、中山 徳良 様、畑田 学 様、服部 光治 様、林 祐太郎 様、三澤 哲也 様、三宅 勝 様、横山 清子 様

##### ■団体

- 100万円以上 株式会社ミライプロジェクト 様
- 10万円以上 一般社団法人名古屋市立大学医学部同窓会 様

#### 名市大生みらい応援基金

##### ■個人

- 1万円以上 奥山 佳胤 様
- 非公表 伊藤 恭彦 様、稲垣 菊子 様、加藤 尚一 様

※五十音順。2025年10月1日~12月31日までに寄附をいただき、公表に同意された方。  
※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。



#### 【SDGsのアイコン(1~17のGOAL)】

SDGsとは「Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標」の略称で、17のGOALが設定されています。本学もSDGs達成に向けた活動を推進しているため、関連するGOALのアイコンを各記事に表示しています。

**募集中!** 広報誌「創新」のご意見・ご感想などをぜひ経営企画部 広報課までお寄せください!

▶▶▶ E-mail : [ncu\\_public@sec.nagoya-cu.ac.jp](mailto:ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp)